

# 保護者との意見交換会（2回目）記録要旨

【日 時】平成30年7月2日（月）16時00分～17時10分

【会 場】第二松江小学校2階 ポプラルーム

【配布資料】第二松江小学校の今後について

【主な内容】

## 1 説明内容

- 第二松江小学校の現状について
- 昨年度の取組状況について
- 江戸川区教育委員会の方針について

## 2 意見交換

- 平成30年度に入学した児童は、卒業を約束してもらえるのか。  
→閉校について知らずに入学した児童が卒業できることが望ましいと思っています。  
ただし、一方でこのような話（閉校の話）が出ますと、新入学生が減少し、著しく小規模化が進むことが考えられます。閉校時期については、こうした状況も踏まえて教育委員会で決めていきますので、卒業は難しい場合もあります。
- 閉校時期が決まらず、中途半端な状態が保護者にとって一番不安。  
早めに決断してもらいたい。人数が減少していき、寂しい形で閉校になって欲しくない。
- 6年生で残り1年間というときに転校するのは、児童が可哀相。閉校時期が決まれば、閉校前の転校も考えられるので、今年度中に決めてほしい。  
→できれば今年度中に決めたいと考えています。
- 建物はどれくらいもつのか。  
→何年までもつとは言えません。学校運営だけなら問題はありませんが、大地震の場合や有事の際の避難施設になることを考えますと個人宅のようにはいきません。老朽化の進む施設は、検討せざるを得ません。
- 小学校の通学区域が変更となると、その小学校の通学区域内にある中学校に行きたい気持ちが強くなると思う。松江第二中学校の生徒が更に減少するのではないか。  
→現在、第三松江小学校に通う児童の大半は松江第三中学校が就学指定校、少数の児童は松江第二中学校となっています。友人関係等の理由から松江第三中学校に行きたいとの希望も多くあります。今回、通学区域を変更することで、第三松江小学校に通う半数近くの児童は、松江第二中学校が就学指定校になるため、少数の児童だけが中学校で別れてしまうことはなくなります。

- 選択制の通知には、第二松江小学校のことについて、どのように記載するのか。
  - 7月中旬頃に平成31年度新入学生の世帯に通知が発送されます。選択制とは異なる措置がされる方向で準備を進めていると聞いています。通知が発送される前になりますので、詳しい内容についてお伝えすることはできません。
  
- 第三松江小学校と松江小学校は受入れの体制はできているのか。
  - できています。
  
- 児童のケアについても考えて欲しい。肩身の狭い思いをしないようにしてもらいたい。
  - 児童のケアについては、江戸川区教育委員会だけではできませんので、学校と連携して対応していきます。
  
- 登校班があったから第二松江小学校を選んだ。学校が変わると登校班の形も変わると思うし、遠くなると防犯上危険も増える。また、環境が変わると不安も増えるので、精神面のケアもしてもらいたい。
  - 周辺校ともよく相談し、実情に合わせて対応していきます。
  
- 保護者への配慮はないのか。(PTA活動等)
  - 基本は受入校のスタイルに合わせていくことになります。PTA活動に関しては江戸川区教育委員会が口を出せるものではありませんが、配慮をお願いすることはできます。
  
- 第二松江小学校の先生を第三松江小学校と松江小学校に異動させることはできるのか。
  - 閉校時期が定まっていない状況では、人事に関する要望は厳しいです。閉校時期が確定したら、教育委員会の担当部署へ要望を伝えることはできます。
  
- 新入学生の保護者へ先に説明したが、在校生の保護者に説明するのが先ではないか。
  - 保護者の皆様が集まるタイミングで説明させて頂きたいということで、結果的に新入学生の保護者が先になりました。学校が閉校になってしまうという不安な環境下にあるのは変わりませんので、どちらの保護者も同列と考えています。
  
- なぜ、昨年度、町会や地域の方から先に説明したのか。保護者に説明するのが先ではないのか。
  - 地域の方には、第二松江小学校の現状説明と今後の在り方について検討するため、説明会を開催しました。その時には、閉校するという方向性は決まっていなかった。保護者の皆様に説明するには、具体的な方向性が決まってから説明した方が良いと思っていたため、今回の説明に至りました。